

町長との行政懇談会 質疑応答

日 時：平成23年12月5日（月） 午後7時～午後8時15分

場 所：津柳地区コミュニティセンター

対 象：奥山・小藁地区

参加人員：27人

Q：圃場整備してから7年が経過した。農道は砂利舗装で傷んでいる。舗装して欲しいが計画はどうなっているか。

A：平地部で圃場整備地区内を今県の補助を使って舗装している。町単独ではなかなかできない。田中地区の進捗を見ながら県とも相談したい。見込みをご連絡させていただく。

〔 後日、町全体の計画を考慮して今後検討する旨、回答。 〕

Q：町から文書などが来て、返信しなければならない場合は返信用の封筒を入れて欲しい。山間部では切手も買えない。

A：返信が必要な場合はできるだけそうする。

Q：ご当地プレートを作ったらどうか。その場合、二本杉とか虹の滝も入れて欲しい。フェスタの金をそちらに回したらどうか。

A：2輪のナンバーなら可能である。フェスタの金を回すということについては、両方やりたい。

〔 後日、現在の在庫がなくなった後のプレートについて、デザイン等も含めて検討する旨、回答。 〕

Q：峠のあたりはイノシシ、猿に作物を取られ、収穫できない。雨の日には納屋で雨やどりしている。何とかできないか。

A：猿は猟友会も嫌がる。イノシシはある程度獲っているがあまり減らない。追い払うしかないのが実状である。北部にも出てきている。

Q：歳を寄せて、バスが欲しい。小さい9人から10人乗りで、週に1回でも2回でも良いから廻せないか。

A：アンケートをしたが、希望は多い。今のコミュニティバスは低床なので、山間部には廻せない。小型を考えなければならない。来年度、内部で議論したい。

Q：山南地区には県道が3本走っている。冬に雪が降ったときには、竹が倒れてくる。草も年に1回しか刈ってくれない。桧の枝も道に出てくる。道の拡幅も少しでも進めて欲しい。

A：県道なので草刈は県にお願いするしかないが、県も財政難で1回になっている。竹については、路線管理の委託を受けている業者に切ってもらおうよう県と相談してみる。県がしてくれないなら町でやるという方法もあり得る。全線の改修には時間がかかる。県も財政が苦しくなっているが、

なお県に働きかける。

〔 後日、県が管理を委託している業者があるので、長尾土木事務所に随時連絡していただくよう、
回答。 〕

Q：さぬき市のコミュニティバスは三木町内では乗せてくれない。

A：さぬき市にお願いしても良い。応分の負担をしても良いと思う。